佐久間特殊鋼　健康経営戦略マップ

健康投資	健康投資効果			経営課題	
具体的な取組	健康投資施策の取り組み状況に関する指標 施策への取組状態 ＜アウトプット指標＞	社員等の意識変容・行動変容に関する指標 ＜パフォーマンス指標＞	健康関連の最終的な目的指標 ＜アウトカム指標＞	健康経営で目指す経営課題	期限と数値目標 ＜KPI＞
営業・業務支援システムの導入	指標 ・業務効率化諸システムの導入 取組状態 ・善循環システム(業務平準化)25% ・ワークフローシステム　57% ・RPA導入率　67% ・請求書発行システム　100% ・受発注システム　75%	年間総労働時間、有給休暇取得率　推移に着目 計画 2020年　1，900時間 2021年　1，892時間 2022年　1，884時間 2023年　1，876時間 2024年　1，868時間 2025年　1，860時間	年間総労働時間削減 1人あたりの年間総労働時間を2025年までに2018年比　10%縮減 2018年　2，064時間 2025年　1，860時間	当社の経営課題は 会社の持続的発展である。 また社員やその家族が真に健康で 幸福であることを追求していけば、 質の高いアウトプットにつながり、 ひいては会社の発展に寄与する ものであると考える。	期限と数値目標① 期限　2025年 目標数値　時間あたりの売上高を2018年比5%向上 166，000円/人・時間 ＊2018年 売上　56，025百万円 総労働時間　354，000時間 時間当売上　158，000円 ＊2025年 2018年比5%向上 166，000円 当社は、1人あたりの年間総労働時間を、2018年比10%削減、一人当たり時間当たり売上高5%増の目標を設定している。 経営課題である持続的発展を維持するためには、業務効率化による労働時間を削減しゆとり時間を創生する取組み等により、質の高いアウトプットを行い真に生産性向上を図る必要がある 期限と数値目標② 期限　2025年 目標数値　メタボリックシンドローム該当者比率を2019年比10%縮減 ＊2019年　17．2%(26/151名) 該当者　26名 ＊2025年　7．2% 社員の健康の追求指標を1次予防の達成としメタボリックシンドローム基準該当者を削減することで、健康で末永く働いてもらえるようになり 社員のワークエンゲージメントの向上と公私の幸福につながる。
ワークエンゲージメント向上	指標 ・エンゲージメント向上施策 ・時間単位有休制度導入 ・TSUNAGU(経営層と社員を繋ぐコミュニケーションツール)導入 ・Today's HERO　(相互に認め合い良い点を共有するツール)導入	ストレスチェックチェック「働きがい項目」素点 ＊ストレスチェックスコアーは良好。 特徴として上司・同僚の支援が仕事の量・質を上回っている。 仕事の量を減らしつつ、上司・同僚からの支援力の維持・向上を目指す	ストレスチェックチェック「働きがい項目」素点 2025年　2.0未満		
二次予防から一次予防への転換の為 生活改善サポート事業の実施 ・食生活リテラシー向上 ・運動習慣の確率	指標 ・保健指導等健康施策参加率 取組状況 2017年　74.6% 2018年　83.3% 2019年　97.5% 2021年　57.0% 次年度以降の取組として、アプリで視聴実績が確認できる運動配信や、歩数を競い合うイベントなどを検討中	メタボリックシンドローム該当者比率に着目 2019年　26人　17.2% 2020年　25人　16.0%	メタボリックシンドローム該当者比率 対2019年　10%減　7．2%		